

## 昨年設立の「北海道吹奏楽プロジェクト」



中学生に指導しながら、一緒に演奏するプロジェクトのメンバーら=江別市立大麻東中

吹奏楽の普及を目指し、札幌の音楽関係者が昨年4月に設立した「北海道吹奏楽プロジェクト」(畠中秀幸代表)が2月6日、初の演奏会「北海道吹奏楽フェスティバル」を、ちえりあ(西区宮の沢)で開く。中高生にプロが教える様子を公開するほか、プロとアマが合同演奏し、練習成果を披露する。

(上田貴子)

## プロとアマ 合同演奏

札幌で6日 指導の様子も公開

プロジェクトはアロ

マの活動の場を広げ、アマチュアの技術の底上げを図るのが目的。桜井匡さん(トランペッ

ト)や山田季美子さん(ユーフォニアム)ら、管楽器を中心としたア

ロ13人でつくる「札幌管楽ソリスト」が中核となっている。

ソリストのメンバーは各種演奏会開催のほか、プロジェクト内

にあるアマチュア演奏者の「アカデミーバンド」や、札幌圏の中学校の吹奏楽部で指導してきた。畠中代表は

「プロにとっては指導力や意識の向上につながり、アマチュアは刺激を受けるいい機会になっている」と話す。

当団は3部構成。第

1部(午後3時半から)はソリストが中学校の吹奏楽部に指導する様子を公開。2、3部(午後6時以降)はアカデミーバンドやソリストが単独または合同演奏。札幌大谷短大の米谷久男教授らが指揮する。前売りは一般2千円(当日2200円)、高校生以下1500円(同1700円)でローソンチケットなどで販売中。問い合わせはスタジオ・シンプロニカ☎011・2156400へ。